



小川 勉  
(西高田)

支え愛の  
集落づくり

西高田集落では高齢化が進み、集える場もなかなかありませんでした。そこで、社会福祉協議会のふれあいいきいきサロン活動をきっかけとし、集落のみんなが集える場「お達者クラブ西高田」を立ち上げました。

ここでは、朝から集会所に集まり、楽しみながら

料理や菓子を作り、笑って会話しながら食べたり、ゲームや軽運動をしたりして、夕方まで楽しい時間を過ごします。また、季節ごとの行事を集落の老若男女で計画したりします。

世代をこえた交流や近所同士のふれあいの場となり、お互いに「目配り、気配り、心配り」ができ、支えあいの意識が高まってきています。

高齢化が進む中、お世話するのも高齢者になりませんが、みんなが笑顔で集える場として、これからもみんなでこのクラブを大切にしたいと思います。



田口智子  
(今在家)

豊かな暮らし

「お母さん、みてみて！かわいいやろ〜このアマガエル！」毎日のようにどろんこになって、田んぼの中からカエルやカニを捕まえてくる子どもたち。大阪から大山に来て2年半がたち、すっかり暮らしに慣れてきました。山があり、川があり、豊かな緑に囲まれて

子育てできることは本当に豊かだなあと、日々感じています。

昨年始めた稲作。米を育てることはとても素晴らしい経験でした！それもこれも地域のベテランの方々があれこれ指導して下さったおかげです。今年も美味しいお米が食べられるように感謝しながら育てていきたいと思えます。

「ここに越してきてよかったな！」こともたちのその一言が、私の宝物です。



山内秀穂  
(八重)

大山町に帰り  
16年

主に、仕事の関係で現地駐在、出張で約40の国々を廻りました。それに伴い、20回近く引越しをしました。今思えば我ながらよくやったと思います。英語は何とかなりましたが、他の言語については苦

大山町は米国テメキュラ市と姉妹都市関係にあり

ます。1か月でもテメキュラ市に行つて、毎日英語漬けの日々を過ごせば、上達すること間違い無しです。

先月、テメキュラから訪問団7名が来町しました。アメリカの現状、トランプ大統領のことについて、話しました。中国、イランにたいして、強硬な態度をとる人は歴代大統領では初めてであり、移民政策についても、筋が通っている。との意見。

私と家内2人16年前に大山町に帰りました。(家内は東京出身)終の棲家となる大山町、住みにくさは感じません。悪くない町です。

あとがき

議員は周囲を見渡さなければなりません。他の自治体を視察して調査しながら、良いと思われる施策をどんどん採り入れる、それが周囲を見渡すという表現です。

会計年度の事務事業評価を行うことにより、透明性の高い議会運営に結びつける基礎となります。議会と住民との協働という面では、まだまだ実績が少ない状況です。住民とのアクセスが多い議会、そうした方向に向かう改革がいま地方議会に求められています。開かれた議会に変えることによつて、はじめて住民は議会に目を向けるはず。住民の幸福を求めるのは議会の使命と責任です。(西山)

【発行責任者】

議長 杉谷 洋一  
【広報常任委員会】

- 委員長 大森 正治
- 副委員長 池田 幸恵
- 委員 西山富三郎
- 委員 岡田 聡
- 委員 西尾 寿博
- 委員 野口 昌作
- 委員 大杖 正彦
- 委員 加藤 紀之

発行/大山町議会 編集/広報常任委員会  
〒689-3211 鳥取県西伯郡大山町御米屋328  
☎ 0859-54-5213 ☎ 0859-54-5214

議会だよりのご感想をお寄せください!

大鷹橋から望む大山